

小平井の歴史と文化



会期 3月12日(土)～5月8日(日)

休館日：月曜・月曜が祝日の場合は翌日

栗東歴史民俗博物館

小地域展

小平井の歴史と文化

【展示解説会】

3月12日(土)・4月9日(土)・5月7日(土) いずれも14:00~15:00

栗東市小平井地区は市域の北西部に位置しています。

近年小平井地区では開発が進んだことで、相次いで発掘調査が行われています。蛭子神社の周辺からは飛鳥時代から奈良時代の多数の瓦や文字を使う人がいたことを示す硯が発見され、ここに古代寺院が営まれていたことが分かりました。

古代寺院は早くに廃れたようです。というのもその痕跡を消すように、平安時代以降に敷かれた条里制の区画ができてきているからです。立派な伽藍は田地へと姿を変えたと考えられます



現在の小平井地区の原型が確認できるのは、室町時代になってからのことです。大宝神社の祭礼の記録には“大平井”“小平井”の名前が残されており、このころには大宝神社の祭礼に供奉する小平井の集落が形成されていたことが分かります。

また江戸時代には小字栗元のあたりに人家が密集し、それ以外は田地が広がるという、明治~昭和初期につながる集落の景観ができあがっていたと考えられます。

のどか田園地帯が変貌を遂げるのは、昭和40年代以降のことです。栗東ICの開業を契機に事業所の進出や宅地開発が進みました。近年では草津方面へのアクセス向上に伴い、加速度的に宅地開発が行われました。本展では古代寺院はもとより、近年の開発に至るまで長い歴史を有する小平井について紹介していきます。

栗東歴史民俗博物館

〒520-3016 滋賀県栗東市小野 223-8

TEL 077-554-2733/FAX 077-554-2755

URL <http://www.city.ritto.lg.jp/hakubutsukan/>

チラシ表 「栗太郡小平井村地券取調総絵図」(明治6年(1873) /小平井共有文書)

チラシ裏 右上:古代寺院 小平井廃寺関連瓦(栗東市教育委員会蔵)

中央:小平井団地分譲時チラシ(昭和54年(1979)ごろ /個人蔵)

左下:「江州栗太郡小平井村検地帳」(慶長7年(1602) /小平井共有文書)